



生き生きとした自分を見つめるための実用生活誌

はじまりのページ

Shukokai-Magazine The page of beginning

2020 LateAutumn NO.53

特別座談会

新クリニック——

「ICVS Tokyo Clinic V2」がもたらす

“幹細胞治療”の 治癒力

ダイジェスト版



新クリニック—— 「ICVS Tokyo Clinic V2」がもたらす

“幹細胞治療”の 治癒力

本年10月5日、「ICVS東京クリニック」の姉妹クリニックである『ICVS Tokyo Clinic V2』が開院しました。

『ICVS Tokyo Clinic V2』は、珠光会が60年にわたって続けてきた「がんに対する“免疫療法”」とは異なる治療コンセプトを有し、珠光会にとっては新しい試みに富んだクリニックです。

今回の特集は、同クリニックの渡辺佳明院長、細野慎事務長、幹細胞治療のオーソリティである医療法人社団みき会サンフィールドクリニックの劉効蘭理事、そして、米国法人蓮見国際研究財団の蓮見賢一郎理事長にお集まりいただき、再生医療の現在と「ICVS Tokyo Clinic V2」が担う新たな医療の可能性について語っていただきました。

○ 〓 幹細胞治療とは？

——前号（『はじまりのページ』52号）でお伝えした通り、「ICVS Tokyo Clinic V2」は「再生医療」を担うクリニックです。再生医療にもさまざまな分野がありますが、『ICVS Tokyo Clinic V2』が施術するのは「幹細胞」を用いた治療。そもそも幹細胞とはどんな細胞なのでしょうか。

渡辺院長 「人間の細胞は大きく、遺伝情報を司る〓生殖細胞〓と、脳や筋肉、内臓などで構成する〓体細胞〓に分類できます。幹細胞は体細胞の一種であり、自己複製能〓と〓多分化能〓という特殊な能力を持っていることが特徴です。

自己複製能とは、分裂によって自分と同じ細胞をつくる能力〓。多分化能とは、さまざまな細胞に分化する能力〓です。私たちが怪我などの損傷を負ったとき、そのダメージから回復するのも幹細胞が新しい組織を再生してくれるお陰なのです」（図1参照）

——幹細胞はどのようなメカニズムで、どの

細胞の発見

蓮見賢一郎 医療法人社団 珠光会 理事長

顕微鏡が発明されたのは1590年——。オランダ西部の都市ミデルブルフに暮らす眼鏡職人ハンス・ヤンセンと、息子のツァハリアスによるとされています。2つの凸レンズを組み合わせた複式顕微鏡でした。当時の顕微鏡は拡大率が不十分だったため、科学的なアイテムというよりは〓びっくりオモチャ〓的な要素が強いようでした。人々は植物や鉱物、昆虫などを拡大し、レンズ下に広がる未知に心を躍らせたのでしょうか。

そうした顕微鏡マニアのひとりに、ロバート・フック(Robert Hooke 1635年—1703年)という英国人がいました。ロンドン王立協会に所属するフックは、自身が1678年に発見した〓フックの法則(弾性の法則)〓で有名な物理学者です。学生の頃、ばねの図解を必死に描いた記憶がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

フックは、自ら制作した顕微鏡でさまざまな動植物を観察し、1665年に「顕微鏡図譜(Micrographia)」という図画集を発表しました。フックは絵の才能もあったようで、収載画はどれも精密——。当時のベストセラーになったといえます。

「顕微鏡図譜」の作品のひとつに〓コルク(コルク樫から剥いだ樹皮)〓の拡大図がありました。

彼はコルクが小さな部屋のような空間の連続からできていることを発見し、これを〓Ceil(小部屋)〓と名付けたのです。

フックが観察したものは、厳密には死んだ細胞の細胞壁でしたが、このとき彼は以後人々が数知れず口にする〓Ceil〓細胞〓という言葉の名付け親になったのでした。

細胞という概念は、科学の進歩に伴い多種多様な範疇へ分類されていきました。その最先端のひとつ——〓再生医療〓を実施する医療施設が、本年10月に開院しました。幹細胞治療の専門クリニック『ICVS Tokyo Clinic V2』です。

クリニックの詳しい説明は〓特別座談会〓に譲りますが、『ICVS東京クリニック』の姉妹病院として、HITV療法〓を補完する治療を実施すると同時に「慢性疼痛」など、QOL(生活の質)を低下させる疾病の治療を目指します。

京都大学のiPS細胞をはじめ、再生医療は医学界をリードする分野です。『ICVS Tokyo Clinic V2』が、その一翼を担う医療機関として飛躍してくれることを願います。それがひいては珠光会の医療全体を底上げし、患者様に安寧をもたらしてくれると信じているからです。

CONTENTS

2 思いの言の葉 Vol.47
細胞の発見

3 特別座談会
新クリニック——
「ICVS Tokyo Clinic V2」がもたらす

“幹細胞治療”の治癒力

9 連載コミック
第48回 ほのぼのJiJi・BaBa 松 & 梅

10 風邪+インフルエンザ+コロナウイルス——

この冬を元気に
乗り切るために
日常生活で免疫力を上げる7つの方法

12 ICVS東京クリニックに——
「免疫サポート外来」が誕生
～免疫力を上げて回復を早める方法を指導～

16 かんたん家庭料理
黒きくらげと小松菜のナムル風

17 珠光会通信



医療法人社団みき会サンフィールドクリニック／
一般社団法人国際抗老化再生医療学会
劉 効蘭理事

——先ほど渡辺院長から、幹細胞がもたらす治癒のメカニズム^{※3}については説明がありましたが、具体的には、どんな病気に効果を発揮しているのでしょうか？

劉先生 「幹細胞治療が効果的な病気については、世界中から論文が上がっています。私のクリニックでは、慢性疼痛^{※4}、動脈硬化^{※4}などに対して幹細胞治療を用いています」

——ハスミワクチン^{※3}の拠点として「珠光会診療所」が開院したのは1958年。HITV療法^{※4}の専門施設として「ICVS 東京クリニック」が開院したのは2008年です。パイオニアとして長年免疫療法に携わってきた珠光会が、なぜ今、幹細胞治療^{※4}にチャレンジしようと思ったのでしょうか？

蓮見先生 「前段階も含め、HITV療法を始めてから約15年経ち



医療法人社団 ICVS Tokyo Clinic V2
渡辺 健明院長

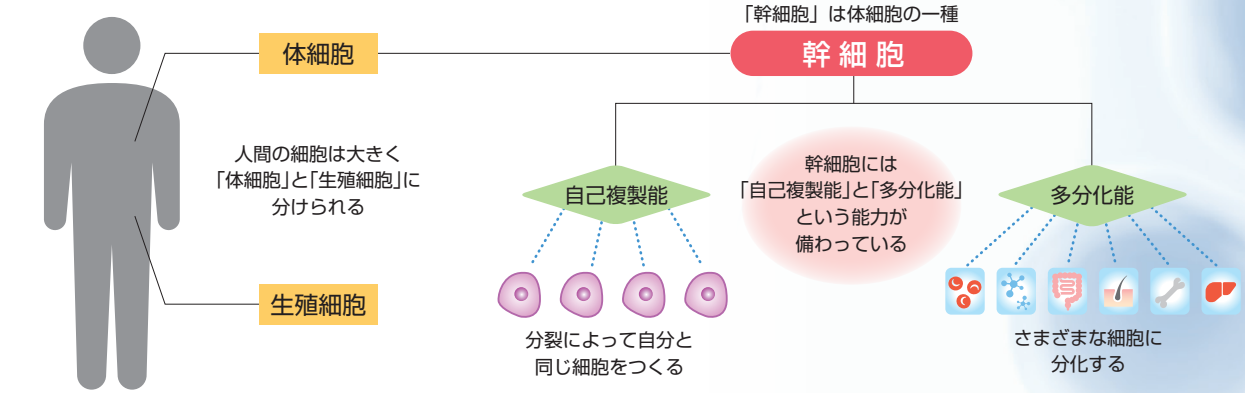
——具体的にはどういうことでしょうか？

蓮見先生 「放射線の後遺症、すなわち、火傷^{やけど}のような皮膚の損

ました。施術した患者さんも1000名を超え、3年生存率では適応範囲なら79・2%、適応なしでも45・8%の方が高いQOL（生活の質）を保っています。

HITV療法のプロトコル（定められた手順）には、放射線療法や化学療法（抗がん剤）が組み込まれています。ご存知の通り、これら標準治療には副作用を伴いますが、最近放射線による事例が見られるようになりました。つまり、がんは治ったのだけれど、放射線の後遺症に悩まされる……という状態です。こうしたケースを何とか解消したいという思いで、さまざまな論文を精査した結果、幹細胞治療の有効性に辿^{たど}り着いたわけです」

図1 幹細胞のプロフィール



ような効果を生むのでしょうか？

渡辺院長 「まだ研究途上ではつきりと解明されたわけではありませんが、幹細胞が治癒を促す仕組みは3つあるといわれています。

1つは幹細胞が自ら損傷部位を探し出し、そこへ移動して修復を試みる「ホーミング効果」^{※1}。2つ目は損傷部分の近隣部位を修復する「バクライン効果」^{※2}。3つ目は離れた損傷部位を修復する「エンドクライン効果」^{※2}です（図2参照）。

幹細胞はこの3つの効果によって体内の修復・再生活動を担っているわけです。例えば脳血管障害の患者さんに幹細胞治療を施術することで、脳内神経の再生化が認められたり、運動障害が改善されたりという報告が国内外の研究施設から多数上がっています」

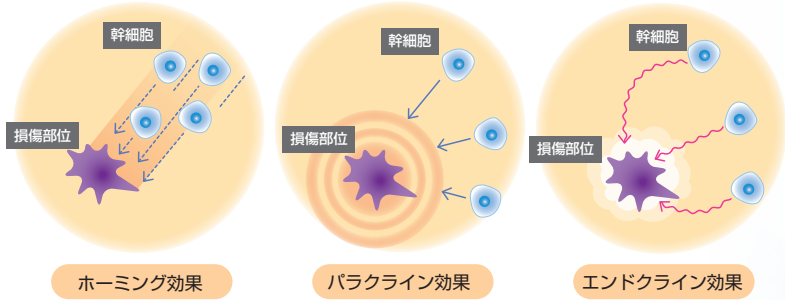
——幹細胞（stem cell）という言葉が最初に科学誌に登場したのは、19世紀後半だとい

われています^{※1}。また、1957年には幹細胞を再生医療に応用した最初の事例が報告されています^{※2}。幹細胞治療はとても歴史ある治療法ですが、長年治療に携わってこられた劉先生からご覧になって、現在、幹細胞治療はどういう状況にあるのでしょうか？

劉先生 「2014年に厚生労働省が『再生医療等の安全性の確保等に関する法律』を施行したことにより、再生医療などを実施する医療機関は厚生労働大臣へ治療計画を提出し、認可を受けることが必須となりました。もちろん、『ICVS Tokyo Clinic V2』も私のクリニック（サンフィールドクリニック）も厚生労働大臣の認可を受けて治療を行っています。この法律の施行によって、エビデンス（科学的根拠）の乏しい医療機関は少なからず淘汰され、現在は確かな根拠に基づくクリニックが増えています。

治療方法もさまざまですが、『ICVS Tokyo Clinic V2』も私のクリニックも、治療に用いるのは、脂肪由来間葉系幹細胞^{※4}です。脂肪由来の細胞は筋肉や骨神経などに分化する「多分化能」^{※4}を有しており、かつ採取が容易でリスクが少ないという利点があるため、いち早く実用化が進みました」

図2 幹細胞が“治癒”を促す3つの仕組み



※1 ドイツの生物学者 Haeckel による。彼が表した進化の系統樹に登場する単細胞生物を stammzelle（ドイツ語で stem cell を意味する）と表した（生物工学 第38巻）

※2 Thomas（1990年ノーベル生理学・医学賞受賞）によって行われた世界初の骨髄移植（同）

※3 ハスミワクチン：珠光会が1948年より注射している“がんワクチン”。がんの第1期から第3期まで幅広い効果を発揮する

※4 HITV療法：「ICVS 東京クリニック」で施術される次世代型免疫療法。がんの第4期・再発に対し、高い奏効率を示す



米国法人蓮見国際研究財団
蓮見 賢一郎 理事長

傷部位に幹細胞を集めることで、傷の回復が速まることわかつてきたのです。先ほど渡辺院長が説明した3つの仕組みの総和でしょう。これらに関連した特定の部位に幹細胞を集合させる技術は大阪大学、名古屋大学、東京医科歯科大学など多くの機関で研究されています」

——『ICVSTokyoClinicV2』の幹細胞療法は、『ICVS東京クリニック』の「HITV療法」を補完するという意味合いもあるんですね。

蓮見先生「はい。『ICVSTokyoClinicV2』のV2とは「Version（バージョン）」という意味です。もちろん、幹細胞治療の可能性は積極的に追究していきますが、ベースとなるのががん治療における後遺症の解消です。そういう意味で『ICVSTokyoClinicV2』の幹細胞治療は、H

いると思います。『ICVSTokyoClinicV2』が目指す未来とは、どんなものなのでしょうか。

蓮見先生「日本の医療の方向性を考えると、今後再生医療がますます重要性を帯びていくことは、疑うべくもないでしょう。

先に述べたように、『ICVSTokyoClinicV2』の幹細胞治療は、HITV療法の弊害を解消することが第一義ですが、幹細胞治療のポテンシャルには多くの可能性を感じています。だからこそ、まず幹細胞がどんな病気に適応があるのかを明らかにしたいと考えています。知見や技術が日進月歩で更新される分野ですので、劉先生と情報を共有しながら研究・臨床を進めていきたいと思っています」

——劉先生は「慢性疼痛」に対する幹細胞治療を行っています、超高齢化社会を迎え「痛み」に関する問題を抱える人は、益々



医療法人社団 ICVS Tokyo Clinic V2
細野 慎 事務長

「ITV療法の一環だといえるでしょう」

——渡辺院長は院長に就任されるにあたり、どんな抱負をお持ちでしょうか？

渡辺院長「以前から幹細胞による「疼痛の治療」には関心がありました。劉先生は慢性疼痛に対する幹細胞治療の実績が豊富ですので、それらの臨床に学びながら一層工夫を凝らし、患者様により良い治療をご提供したいと考えています」

——幹細胞治療は、まだまだ発展する可能性を秘めた分野ということですね。

渡辺院長「はい。幹細胞治療の可能性を実証するためにも、データの収集と分析は欠かせません。臨床で得たデータを解析し、再び臨床にフィードバックする——。その繰り返しにより、当クリニックの幹細胞治療を研鑽していきたいと思っています」

——細野事務長はクリニックを裏から支える立場ですが、新しいクリニックの立ち上げの瞬間に出会われた感想はいかがですか？

細野事務長「当クリニックに着任する前は、総合病院で消化器病棟を担当していました。『ICVSTokyoClinicV2』は自費診療ですし、治療も幹細胞という最先端の分野ですので、日々これ勉強の連続です。渡辺院長と二人三脚で、毎日新鮮な思いで仕事に取り組んでいます」

○再生医療の未来を担う

——医学の進歩に伴い、医療の有様もまた多様化の時代を迎えて

増えてくるのではないのでしょうか。

蓮見先生「幹細胞治療の特長は自らの細胞を使うので、副作用がほとんどないこと、そして、体への負担が少ないことです。お年寄りにとって痛みは切実な問題ですので、それを麻薬系の薬を使わずに癒すことができれば、大きな福音となるのではないのでしょうか」

渡辺院長「幹細胞治療のバリエーションのひとつに「幹細胞培養上清液療法」という治療法があります。500種類以上の生理活性物質を含んだ「幹細胞培養上清液」を用いる治療法ですが、アルツハイマー病や認知症にも効果を発揮するという報告もあります。まだエビデンスは確立されていませんが、お年寄りにとってはメリットの大きい治療法ではないでしょうか。

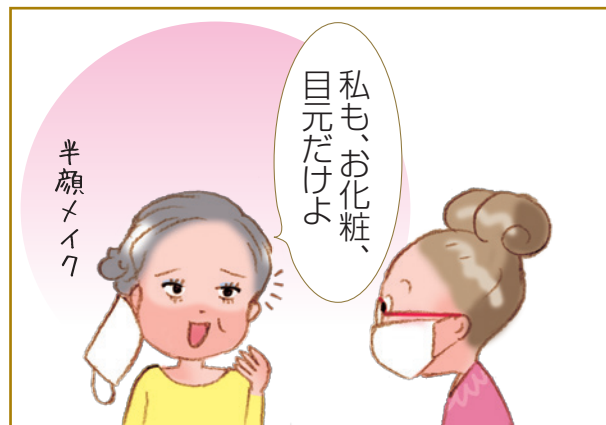
いずれにしろ、がんをはじめ神経系、運動器系、脳神経系など、加齢に伴う疾患は裾野が広いので、臨床データを踏まえながら確かな医療を患者さんに提供していきたいと考えています」

劉先生「幹細胞治療を含めた再生医療は、これからピークを迎える分野です。医学を突き詰めていけば、どうすれば病気になるかに若々しくいられるか」という命題に至るのではないのでしょうか。幹細胞が秘めた可能性のひとつが、その答えに辿り着くのではないかと考えています」

——再生医療の未来を担う医療機関として、『ICVSTokyoClinicV2』がより良い医療を提供し続けていくことをお祈りしています。本日はありがとうございました。



おサボリメイク



小林 裕美子

マンガ家／イラストレーター
東京造形大学・デザイン学科卒業。イラストレーターとして、実用書や児童書、雑誌、WEB媒体、新聞等に挿絵やマンガを描いている。『美大デビュー』（ポプラ社）、『もち・ぼち』（徳間書店）、『親を、どうする?』（実業之日本社）、『私、産めるのかな?』（河出書房新社）、『親が倒れた! 桜井さんちの場合』（新潮社）、『産まなくてもいいですか?』（幻冬舎）等、著書多数。

レジ袋



Clinic guide

「ICVS Tokyo Clinic V2」のご案内



受付



診察室



処置室



診察室と手術室をつなぐコリドー（廊下）

細胞培養加工施設
(CPF:Cell Processing Facility)

国際的な GMP 基準に沿った高機能設備。医療施設と一体になっているからこそ、高品質の細胞が安全に培養・供給できる

Information

医療法人社団 ICVS Tokyo Clinic V2
& Regenerative Research Center

所在地：〒102-8578
東京都千代田区紀尾井町 4-1
ホテルニューオータニ内 新紀尾井町ビル 2F
TEL：03-3222-0567
FAX：03-6685-2672

診療時間：午前 9：00 ～ 12：00
午後 2：00 ～ 5：00

休診日：土・日・祝日



風邪+インフルエンザ+コロナウイルス――

この冬を元気に
乗り切るために日常生活で
免疫力を上げる7つの方法

この冬、懸念されているのが“風邪”+“季節性インフルエンザ”+“コロナウイルス感染症”のトリプルパンチ――。3つのウイルスによる同時アタックは、今まで経験したことのない状況ですので、不安を覚える方も多いのではないのでしょうか。こんなときだからこそ心がけたいのは、免疫力を高める生活習慣――。日常生活のなかでできる“7つの免疫力アップ”法を挙げました。

Writing：医療ジャーナリスト 小原田 泰久

Method 1

いっぱい笑う

漫才を聞いて大いに笑ったあとはリンパ球のひとつ、NK細胞の活性が上がることがわかっています。難病に冒された人が病室にお笑いのビデオを持ち込み、毎日、ベッドの上で大笑いしていたところ、病気から奇跡的に快復したという例もあります。

満員電車や騒音といったストレスを受けた人が、そのあと20分間、お笑いビデオを見て笑うと、ただ休んだだけの人よりもストレス物質が約3割少ないという報告もなされています。ストレスが減れば免疫力は上がります。笑いと免疫力には密接な関係があるのです。日々の生活のなかで笑うことを心がければ、それだけで免疫力はアップします。



Method 2

腸内環境を整える

最近の免疫学で注目されているのが「腸管免疫」です。腸内にはたくさんの免疫細胞があって、感染症などの病気を防いでいます。

腸管免疫を支えているのは、約100兆個もいると言われている腸内細菌。免疫細胞を成熟させる物質を腸内細菌が作り出しているのです。腸内細菌を大切にすることが免疫力を高める大切なポイントです。そのためには、味噌、納豆、漬物、ヨーグルトなどの発酵食品や、野菜、キノコ類、海藻類といった食物繊維の多い食材を積極的にとることを心がけるといいでしょう。



Method 3

リズムカルな運動をする

運動はリズムカルにやった方がいいと言われます。リズム運動によって、免疫力を高める上でとても重要な働きをするセロトニンという神経伝達物質の分泌が促進されるからです。

散歩もぶらぶら歩くのではなくリズムカルに。ジョギング、エアロビクス、トランポリン、ダンスなどもリズム運動なのでセロトニンの分泌を促します。セロトニンは、太陽の光に当たると分泌が増えますので、戸外での運動はさらに効果が高くなります。セロトニンは別名「幸せホルモン」とも呼ばれています。ストレスを解消し、快適な気分させてくれる物質です。

Method 4

呼吸は深く長く

なるべく深くて長い呼吸を心がけてください。深くて長い呼吸を続けると、自律神経のうちの副交感神経が優位になります。副交感神経が働くと、人はリラックスできます。温泉へ入ったとき、だれもがフーッと深く息を吐きます。体がリラックスして副交感神経が優位になるからです。副交感神経は免疫力を司るリンパ球を活性化させ、免疫力をアップさせます。ストレスの多い現代社会。どうしても呼吸が浅く短くなりがちです。休憩時間や寝る前だけでも意識して深く長い呼吸をしてみてください。気功やヨガをやるのもいいでしょう。

Method 6

体を温める

50年前と比べて、日本人の平均体温は0.7℃も下がっています。体温が下がれば血流が悪くなって、免疫力は下がります。

体温を上げるには、ウォーキング、ジョギング、スクワットなどの運動をして筋肉量を増やすことです。さらには、外から熱を加えるという意味で、ぬるめのお風呂にゆっくりと入ったり、デスクワークの方は湯たんぽを膝に置いて仕事をするのもいいでしょう。腹巻やカイロもいいのではないのでしょうか。なるべく冷たいものは飲まず、朝起きたら白湯を飲んで体を温めるようにしてください。



Method 5

人に親切にする

セロトニンと並んで免疫力を高めるホルモンとして注目されているのがオキシトシンです。出産時や授乳時に分泌されるホルモンの一つで、子どもを愛しく思い母性愛を高める働きがあるということで話題になりました。その後、人に親切にしたりハグやマッサージなどスキンシップによって分泌が増えることがわかってきました。

コロナ禍でスキンシップは難しくなっていますので、困っている人がいたら手助けをしてあげたり、やさしい言葉をかけてあげるようにするといったのではないのでしょうか。セロトニンと同様、自分自身も幸せを感じることができます。

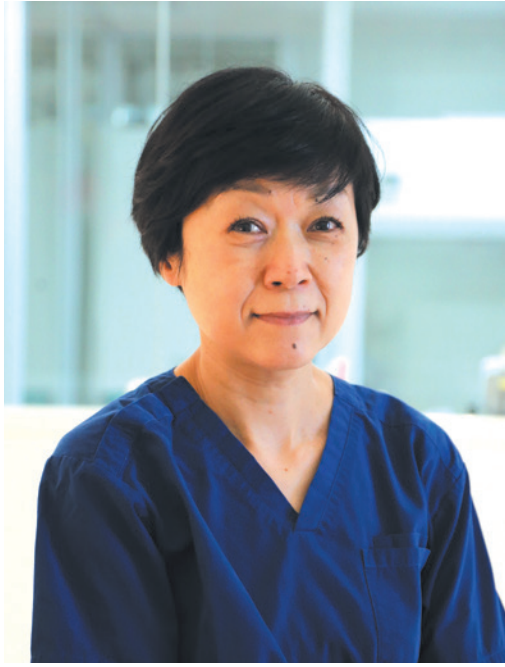


Method 7

睡眠不足にならない

痛んだ細胞を修復し、免疫力を強化するのに睡眠は欠かせません。アメリカの研究では睡眠不足だと3倍以上風邪をひきやすくなるという結果が報告されています。

いい睡眠をとるには心身がリラックスしていないといけません。寝る前に好きな音楽を聴いたり、ゆっくりとお風呂へ入ったり、ハーブティーを飲んだりして、気持ち良くなった状態でベッドに入ってください。深酒をしてパタンと眠ってしまうのは、免疫力の高まる質のいい睡眠という意味ではあまりおすすめできません。



日下 康子 (くさか やすこ)

ICVS 東京クリニック院長

東北大学医学部卒業。東北大学脳神経外科、米国フェニックス、ドイツ：ハノーバーでの臨床研修留学、東京慈恵会医科大学脳神経外科を経て、2014 年～脳神経外科・脳ドック、リハビリテーション病院、人間ドック・検診クリニック、内科・整形外科クリニック、訪問診療、と総合診療を経験のち、2018 年～ICVS 東京クリニック勤務。2019 年～ICVS 東京クリニック院長・管理者。医学博士。日本脳神経外科学会認定専門医、日本医師会認定産業医、日本登山医学会認定国際山岳医など。所属学会：日本脳神経外科学会、日本小児神経外科学会、日本癌学会、日本免疫治療学会、日本登山医学会など。

ICVS東京クリニックに「免疫サポート外来」が誕生

～免疫力を上げて回復を早める方法を指導～

本年 8 月、ICVS 東京クリニックに「免疫サポート外来」が開設されました。医師によるガイダンスに運動・栄養のプロによる指導をプラスし、自己免疫力を上げて病気に対する回復力、予防力を高める方法を、実践的に身に付けてもらうことを目的としています。病気でお悩みの患者様のみならず、ご家族や免疫力を上げたいと思っている人が受診できることも嬉しいポイントです。「免疫サポート外来」を担当する ICVS 東京クリニック院長の日下康子先生、運動指導の高橋昌之先生、栄養指導の高橋清美先生にお話を聞きました。

不快な症状を改善し、
治療効果を高める

「免疫力を上げる外来」というコンセプトがとてもユニークですね。長年免疫について臨床と経験を蓄積してきた医療機関だからこそ可能な試みのように思えます。

日下先生「当クリニックを受診される多くの患者様は、進行期のがんの方や術後再発予防の方です。がん自体は H I T V 療法で治療しますが、がんには例えば肩こり、腰痛、食欲不振など免疫力を下げてしまう不快な症状がつきまといます。

それらの症状に対し、既存の医学では薬剤などで対処する場合が少なくありません。決して間違った選択ではありませんが、そうした方法ではかえって免疫力を下げてしまうケースも見られます。食事や運動などもっと自然な方法で、人間が本来持っている治癒力に働きかけ、免疫機能を高められないだろうか、と考えたことが「免疫サポート外来」を開設するきっかけでした」

不快な症状を改善し、免疫力を上げることで、同時に治療効果を高めるということですね。

医師と管理栄養士、そして、運動の専門家がチームを組んで対応するというところで、みなさまは患者様にどのようなアプローチするのでしょうか。

日下先生「私は患者様に医師としてアドバイスすることに併せ、チームが医学的かつ総合的に機能するための調整役を務めます。

また、痛みの診断と、痛みが激しいときは「トリガーポイント注射^{*}」を施術します。そこまで強くはないけれど、慢性的な痛みが辛い場合は、ハリとかお灸の方がマイルドで長期的に効く場合があるので、痛みの程度によって患者様と相談しながら使い分けます」

ハリとかお灸も施術できるのですか？

日下先生「はい。私は当クリニックへ入職する前、脳外科医として勤務していました。そこでは頭痛対策の一環としてハリやお灸を用いる医師がいました。私も興味がありましたので、15 年ほど前から鍼灸や漢方医学について勉強していま

す。ハリとかお灸は医師免許があれば施術することが可能なのです」

「体力、気力に満ちた体」をつくる

高橋昌之先生の「コンディショニング」とはどんな方法なのでしょう？

高橋(昌)先生「一言でいえば「正しい筋肉の動かし方を知ってもらう」ということです。人間の体には大小含め 600 を超える筋肉があるといわれています。普段、私たちは無意識のうちにこれらを操り、さまざまな動作をしています。いつの間にか筋肉の動かし方が歪んでしまう場合があります。

すると、本来使うべき筋肉とは違う部位に負担がかかるようになり、それが継続すると関節の位置がずれてしまうこともあるのです。

ひとつ関節がずれると他の関節にも影響が及びます。結果、本来は肩に感じるのは痛みの痛みが腰の痛みとなって現れるなど、やっかいな事態に陥ってしまうのです。

そうになると、いくら痛みの箇所を治療しても、問題があるのは別の部位です。で痛みはなくなりません」

腰が痛いからといっていくらマッサージしても、痛みの原因が肩にあるとしたら、まったく筋違いということですね。

高橋(昌)先生「私たちは例えば肩が痛いという訴えがあったら、肩の「筋力検査」をします。肩を動かすための筋肉を正しく使えているかどうかをチェックするのです。

すると、うまく使えていない人は「代償行動」といって、本来使うべき筋肉の代わりに、他の部位の筋肉を動かしていることがわかります。

そこまで判明すれば、筋肉の歪みを調整し、本来の正しい動かし方に戻してあげれば痛みを解消できるのです」

痛みや障害の度合いによって治療法は変わってくるのでしょうか。

高橋(昌)先生「はい。さきほどの肩の例でいえば、立ったままでは痛みで腕が上がらない人が、ベッドに寝た姿勢では上げられる場合があります。筋肉の強さや関節の可動域は人それぞれですので、各人にもっとも適した方法で指導します」

※1 トリガーポイント注射：痛みの引き金になる筋肉の硬直部位に局所麻酔をして、痛みを遮断すること



高橋 清美 (たかはし きよみ)

管理栄養士

JHC 日本ホリスティックコンサルタント／東京糖尿病療養指導士
／栄養教諭／ファスティングマイスター
女子栄養大学卒業後、健診センターやクリニックの栄養指導を経て、病気になる生き方、予防医学、ホリスティック栄養学、スポーツ栄養、妊活栄養のセミナーを行う。細胞の環境を整えるダイエットやファスティングをご提案。

ひとり違います。私は患者さんの生活を基礎として、個人個人に寄り添った栄養指導をしていきたいと思っています」

具体的にはカウンセリングですか？

高橋(清)先生「はい。実際に向き合って患者さんの雰囲気とかお話しの新アンスを感じ取ることは、とても大切だと思っています。

栄養指導は科学的根拠に基づいて行わなければなりません、アドバイスに至るまでの過程では科学がすべてではありません。相談者の微妙なお悩みを、可能な限り深く汲み取ることが大切です」

日下先生「食欲が落ちているときなどは、専門家による具体的なアドバイスが助けになります。みなさま頑張つて食べようとしてくれるのですが、なかなか食が進まない」。栄養やエネルギーを補いながら、なおかつ食べる気になれる食事、食べ方を教えていただければ患者様にとっても大きな力になると思います」

高橋(清)先生「例えば体に炎症がある場合は、油や砂糖などの摂り方が変わってきます。そういった専門家ならではのアドバイスを、きめ細かく伝えていきたいと思っています」

Information

「免疫サポート外来」は完全予約制となります。日時の調整や準備する資料、料金などについてご説明させていただきます。お電話・FAX・メールにて、お気軽にお問い合わせください。詳細は Web Site をご覧ください。

ICVS 東京クリニック

TEL : 03-3222-0551
FAX : 03-3222-0566
mail : clinic@icv-s.org
http://icv-s.org/

「食事にしる運動にしる、直接専門家に相談できるのは嬉しいですね。HITV療法を軸に据えつつ、プロフェッショナルのアドバイスで免疫力を底上げする」。がんと闘ううえで、治療と生活が一体となったまさに理想的な「戦略」といえるのではないのでしょうか。

「免疫サポート外来」の今後の展開がとても楽しみです。本日はありがとうございました。



高橋 昌之 (たかはし まさゆき)

アスレティックトレーナー (ATC)

高校卒業後、アメリカ・ロサンゼルスでアスレティックトレーナーとして研鑽を重ねる。帰国後、専門学校講師を経て、2010 年から 2011 年まで Jリーグ・サンフレッチェ広島専属トレーナーとして、日本代表を含むトッププレーヤーをサポートする。

【資格】

NATA認定アスレティックトレーナー(NATA-ATC)
NASM認定Performance Enhancement Specialist(PES)
NASM認定Corrective Exercise Specialist(CES)
EBFA認定マスターインストラクター
NeuroKinetic Therapy(ニューロキネティック療法)レベル1-2



筋肉の状態を観察する高橋(昌)先生。触れるだけで、指からさまざまな情報が伝わってくる

画一的方法ではなく、個人個人の状態、状況に適した方法を提供してもらえるわけですね。

日下先生「当クリニックへ通院していただいている患者様のなかにも、痛みにお悩みの方は多数いらっしゃいます。画像診断などで原因となる要素が見当たらない場合は、コンディショニングで痛みの原因を突き止めることが、不快な症状を解消する近道かもしれません」

高橋(昌)先生「痛みの心配がなくなってきたら、状況に応じて筋力や持久力を向上させるための、体の動かし方をコーチします。

もちろん、個人のペースに合わせ、無理をしない範囲で行いますので、すぐに効果が出るわけではありませんが、

患者さんとコミュニケーションをとりながら、少しずつ、体力、気力に満ちた体をつくるためのお手伝いができればと思っています」

専門家のアドバイスを きめ細かく伝える

高橋清美先生の栄養指導は、どんなことがポイントになるのでしょうか？

高橋(清)先生「自分の体は自分が食べたものから成り立っています。つまり、体調が良いなら良いと感じる原因の一端が、悪いなら悪いと感じる原因の一端が、生活に含まれているかもしれないということです。

もちろん、人間は機械ではありませんので、何を食ったらどうなると決まっているわけではありません。個人個人で消化吸収能力も異なります。食事が人間の生命に働きかける治癒力の一部だということです。そういう意味で、体の不調を解消するための食事というアプローチは効果的ではないでしょうか。

食の好みや食生活のあり方は、ひとり

珠光会通信 Shukokai Communication

Information

コロナ禍だからこそ知っておきたい—— 「ハスミワクチン」と「アジュバント療法」のご案内

●電話診察で「ハスミワクチン」の処方が受けられます

新型コロナウイルスの影響で生活スタイルもさま変わりしましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
BSL-48珠光会 Clinic では、院内で密にならないように予約調整をしたり、スタッフの体調管理、及び院内のこまめな消毒清掃を徹底し、皆様のご来院に備えております。
しかしながら、全国にいらっしゃる患者様におかれましては、長距離移動を伴う外来受診をためらっている方も多くいらっしゃると思います。
そのような中、当クリニックでは、来院しなくてもワクチンの処方が受けられるように、現在は電話診察もご案内しております。自家ワクチンの作製についても電話診察で承ることも可能ですので、ぜひ一度クリニックへお問い合わせください。ワクチンは郵送にてご自宅へお届けいたします。
また、初めての方でも、できるだけ来院せずにワクチンをご使用いただけるようにと思っておりますので、いつでもお気軽にご相談ください。

電話診察

日時：月曜～金曜
9：00～12：00／13：00～17：00

料金：5,500 円（税込）

TEL：03-3338-0710

※ 電話診察も予約制となっております。まずはお気軽にご連絡ください。



●新型コロナウイルスとハスミワクチン

新型コロナウイルス感染症は、日本においては新規感染者数が減少傾向ですが、欧米では未だに1日1万人以上の感染者が出ている国もあり、世界的に見て終息とは程遠い状況にあります。これからの季節、日本においてもインフルエンザの流行と重なり、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念が強くなっていますので、一刻でも早く治療薬やワクチンの開発が進むことを願うばかりです。

さて、新型コロナウイルスとハスミワクチンについて少し触れてみましょう。
これまで、新型コロナウイルスに関する論文は多数出ていますが、その中には「感染しても抗体が発現しないのは、抗体が作動する前にT細胞によりウイルスが排除されているからである」といった内容のものもあります。つまり、自己免疫力の強化がウイルス対策に効果的だということです。

皮下に常在する樹状細胞の異物学習能力を高めることで、T細胞を強化することができますが、まさにこのことは、70年以上続くハスミワクチンの治療目的そのものだといっても過言ではありません。ハスミワクチンはウイルス感染防止にはなりませんが、自己免疫力を強化することで、たとえ感染しても重症化を防いだり、発症を抑制したりする効果があると考えています。

がんでない方の場合、ハスミワクチン構成物質の一つである、アジュバントだけを週に1度投与することで免疫力を高めることができます。基本的には皮下注射ですが、皮膚に貼るタイプもありますので、元気な方でもコロナ対策、健康維持を目的として当クリニックのアジュバントをご活用ください。

writing：BSL-48 珠光会 Clinic 事務長 渋谷 大介



かんたん家庭料理

食べて“健康長寿”を目指すお手軽レシピをご紹介します。



黒きくらげと小松菜のナムル風

黒きくらげは血をきれいにし、高血圧予防に。また、食物繊維が腸の働きを整え、含有されるビタミンDとともに免疫力を高めます。小松菜はカロテンやミネラルが豊富で、肝機能を高め、血をきれいにします。

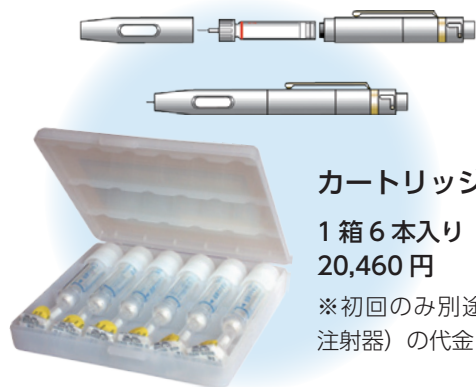
材料 (2人分)

黒きくらげ……………5g
小松菜……………150g
にんにく（みじん切り）……………小さじ1
ごま油……………大さじ1
塩……………小さじ1/3

作り方

- 1 黒きくらげは、よく洗い、たっぷりの水に1時間浸して戻し、石づきを切り取る。小松菜は洗う。
- 2 鍋に水と1の黒きくらげを入れて火にかけ、1～2分ゆで、沸騰したらざるにあげ、同じ湯で小松菜をゆでる。
- 3 2の小松菜を冷水に取り、水気を絞り、冷めたら3cmの長さに切る。黒きくらげは食べやすい大きさにする。
- 4 ボールに、にんにく、ごま油、塩を入れてよく混ぜる。
- 5 3の小松菜の水気を再度絞り、ほぐしながら3の黒きくらげと4に加え、よくあえて器に盛りつける。

● 週に1回投与で免疫力を高める——「アジュバント療法」



カートリッジ型アジュバント

1箱6本入り
20,460円

※初回のみ別途、ディスペンサー（専用注射器）の代金 8,800 円がかかります

M-アジュバントパッチ

1袋4シート入り
8,250円

※貼付剤



Information

2021年「蓮見賢一郎先生・東京講演会」について

毎年1月、東京の紀尾井フォーラムで開催しておりました「蓮見賢一郎先生・東京講演会」は、新型コロナウイルス感染症の影響で、現在開催が未定となっています。

中止も含め、開催に関するご案内は、決定次第「BSL-48 珠光会 Clinic」「免疫療法コンシェルジュ」などのWeb Site 等でお知らせいたします。

日に日に寒さが募る今日この頃——。本誌12頁で“免疫力を上げる方法”を解説していますが、みなさまも体調にご留意され、健康な毎日をお過ごしください。

Information

『ICVS Tokyo Clinic V2』が開院しました

本誌“特別座談会”でも説明しましたが、本年10月5日（月）、医療法人社団 ICVS の新しいクリニック——『ICVS Tokyo Clinic V2』が開院いたしました。同クリニックは再生医療のうち“幹細胞治療”を施術する専門病院です。『ICVS 東京クリニック』の姉妹病院として、HITV 療法の一環として受診する放射線治療の副作用を治療すると同時に、「慢性疼痛」など QOL（生活の質）を低下させる疾病の治療を目指します。その他「花粉症」「更年期障害」「関節痛」「NK 活性上昇」などに効果を発揮する「幹細胞培養上清液療法」も施術します。ご質問等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

医療法人社団 ICVS Tokyo Clinic V2

東京都千代田区紀尾井町 4-1

ホテルニューオータニ内 新紀尾井町ビル 2F

TEL : 03-3222-0567 Fax : 03-6685-2672

E-mail : tokyoclinicV2@icv-s.org



はじまりのページ

—第53号 2020年11月20日発行— ■定価250円（税込）

発行 ■医療法人社団 珠光会 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 新紀尾井町ビル3F

制作 ■株エス・アイ・ジェイ/編集 ■株ストーリープレス 本誌についてのお問い合わせは、BSL-48珠光会Clinic TEL.03-3338-0710 まで

※本誌は、2020年10月下旬までにみなさまからいただいた情報をもとにお送りしております。住所変更手続き等で行き違いがございましたら、お詫び申し上げます。今後このような情報を必要とされない方はBSL-48 珠光会 Clinic までご連絡ください。